

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	会話・発音(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	増井 奈穂美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>毎回、発音練習も取り入れ、日本語の拍に注意しながら正しい発音とリズム感覚を身に付ける。 モデル会話を覚える形からはじめ、次第に既習の語彙や文型を使って状況に応じた表現が自分で作れるようにする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 試験:70% 2. 出席:20% 3. 平常点:10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>使用教材:『日本語会話トレーニング』、『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』、『SHADOWING 日本語を話そう! 初級~初中級』、『みんなの日本語I 本冊』、『みんなの日本語II 本冊』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用 参考図書:『みんなの日本語I 文法解説書』、『みんなの日本語II 文法解説書』</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。普段から日本語で考えて、話すようにしましょう。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>会話は実際の状況で使えなければ、意味がありません。積極的に授業に参加し、様々な状況の会話を練習して、実際の場面で使えるようにしましょう。発音もとても大切です。きれいな発音ができるように練習しましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分の名前や出身を言うことができるようになる。 名前を聞き間違えたとき、正しく伝えることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	発音練習(日本語のリズム、拍感覚) 自己紹介			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手の都合を聞いて「～ませんか」を使って誘うことができるようになる。 日本語の拍を理解して、話せるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	発音練習(拍) 友達を誘う			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業等の場面で、相手に許可を聞くことができるようになる。 日本語のリズムを理解して、リズムよく話せるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	発音練習(リズム1) 許可(～てもいいですか)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	行きたい場所を聞くことができるようになる。 日本語のリズムを理解して、リズムよく話せるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	発音練習(リズム2) 場所を聞く			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「～んです」を使って理由を説明することができるようになる。 長い音を理解して、違いを聞き取れるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	発音練習(特殊音:長音) 理由を説明する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	郵便局での表現を学んで、荷物や手紙を送ることができるようになる。 促音を理解して、違いを聞き取れるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	発音練習(特殊音:促音) 「郵便局」での会話			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	注文の時の表現を学んで、注文できるようになる。 撥音を理解して、違いを聞き取れるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	発音練習(特殊音:拗音・撥音) 「レストラン」での会話			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気の表現を学んで、使えるようになる。 自分の症状を説明できるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング 「病院」での会話			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	電話で、用件を伝えられるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング 電話のかけ方			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アルバイトの面接のときの質問や答え方、態度、座り方などを学び、正しい態度や座り方で質問に回答できるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング アルバイトの面接			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	アルバイトの面接のときの質問や答え方、態度、座り方などを学び、正しい態度や座り方で質問に回答できるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング アルバイトの面接			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	忘れ物を問い合わせることができるようになる。 忘れ物を説明することができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング 忘れ物			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	他の人に、してほしいことをお願いすることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング お願いする			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	何かをしてもらったときに、お礼が言うことができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング お礼の言い方			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	他の人に謝る表現を学んで、謝ることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	シャドーイング 謝る			

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1.5年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	会話・発音(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担当教員	増井 奈穂美	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>毎回、発音練習も取り入れ、日本語の柏に注意しながら正しい発音とリズム感覚を身に付ける。 モデル会話を覚える形からはじめ、次第に既習の語彙や文型を使って状況に応じた表現が自分で作れるようにする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 試験:70% 2. 出席:20% 3. 平常点:10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>使用教材:『日本語会話トレーニング』、『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』、『SHADOWING 日本語を話そう!初級~初中級』、『みんなの日本語I 本冊』、『みんなの日本語II 本冊』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用 参考図書:『みんなの日本語I 文法解説書』『みんなの日本語II 文法解説書』</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。普段から日本語で考えて、話すようにしましょう。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>会話は実際の状況で使えなければ、意味がありません。積極的に授業に参加し、様々な状況の会話を練習して、実際の場面で使えるようにしましょう。発音もとても大切です。きれいな発音ができるように練習しましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	申し出や提案の表現を学んで、相手に助けを申し出ることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	シャドーイング 提案・申し出			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	旅行の計画について、相談して、一つの計画を作ることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	シャドーイング 相談する			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手に意見を聞くことができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	シャドーイング 意見を聞く			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手に自分がしてほしいことを伝えることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	シャドーイング してほしいことを伝える			
第20回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	これまで習った文法や表現を復習し、適切な場面で適切に使えるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
		各コマにおける授業予定	総まとめ			